

科目名称	身体障害の作業療法基礎
授業コード	AE267
英語名称	Foundation of Occupational Therapy Theory:Physical Disabilities
学期	2024年度後期
単位	2.0
担当教員	長谷川 辰男
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	作業を行う上で、身体への関与は不可欠である。身体の障害を持つ人々に対する作業療法の評価、治療過程、治療実施について教授する。 運動や感覚などの身体的な側面のみならず、その障害によって現れる精神面、生活面への影響なども含め複合的に理解を進める。また、神経変性疾患、筋・骨格系疾患、脈管系疾患、内臓器系疾患などの主たる疾患による身体障害の特徴を理解し、それぞれに必要な作業療法の過程を学ぶ。
科目に関連する実務経験と授業への活用	作業療法士としての臨床経験をもとに講義をする。
到達目標	ディプロマポリシーに掲げる「様々な側面から対象者を全人的・統合的に理解する上不可欠な基礎医学的知識および作業療法を理解し基本的な臨床技能を実践できる。【知識・技能】 「科学的根拠に基づき、作業療法を実践するための基本的な科学的思考力、問題解決能力を修得している。【科学的思考力】」ために、以下を目標とする。 身体障害に生じる代表的疾患に対する基本的な作業療法について理解する。 疾患ごとの生活障害の特性について説明できる。 疾患ごとに予後について説明できる。 治療原理について説明できる。 疾患ごとの作業療法について説明・模擬実践できる。
計画・内容	1) オリエンテーション 2) 運動学習 3) 関節可動域の拡大 4) 筋力の維持・増強 5) 感覚・知覚再教育 6) 物理療法の基礎 7) 脊髄損傷 (疾患の特性、治療原理等) 8) 脊髄損傷 (模擬実践等) 9) 関節リウマチ (疾患の特性、治療原理等) 10) 関節リウマチ (模擬実践等) 11) 骨関節疾患 (疾患の特性、治療原理等)

計画・内容	12) 骨関節疾患（模擬実践等） 13) 手の外科 14) 熱傷 15) まとめ
授業の進め方	教科書、配布資料を使用し講義及び演習を行う。
能動的な学びの実施	学生への質問を活発に行う予定なので、積極的な授業態度が期待される。
授業時間外の学修	・授業前に予め教科書の該当箇所を読み、不明な点をまとめておくこと。（各回1時間～2時間） ・教科書やプリントと関連付けて自分の講義ノートを整理すること。（合計60時間程度）
教科書・参考書	教科書：山口 昇、玉垣 努：身体機能作業療法学 第4版 2021、医学書院、5500円
成績評価方法と基準	筆記試験（100%）
課題等に対するフィードバック	学生からのコメントペーパーの内容をもとに、授業への反映や資料配布等を行う。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	「作業療法評価学」での知識を復習しておくこと。その知識をもとに治療過程、治療方法を学びます。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 Zoomミーティングおよび課題提出で行う。 成績評価方法の基準 提出課題の内容等により成績評価を行う。(100%)